

設立趣旨書

1 趣 旨

しあわせ創り一筋に30年 結婚活動を通じて、少子 高齢化社会貢献を実践している現在時代の大きな変化と共に、近年 心を痛め 憂うこと、それは10年後、30年後の日本社会の大きな問題点、それは、心をこめて送り出したOBの出産、育児、家族等、将来にせめて平和で正常な人生をと願い「OBとその父兄コミュニティ」活動を続けて参りました。その延長線上に、この理念、ホスピタリティの輪を、広く一般にも広げたいとの願いをこめて、その趣旨をワークライフバランス推進協力機構と位置づけ、私どもの行う活動が、ひとつの小さな種、灯りとなって社会を明るく照らし、心豊かな人間社会を復活させ、平和で人間性豊かな社会作りに貢献することを事業目的としています。

ここ数年、世間を騒がせる青少年犯罪が多発し、学校ではいじめ、ひきこもり、登校拒否、さらには児童虐待の問題など、未来を担うべき子どもたちをめぐる暗い悲しいニュースが増え、大きな社会問題となっています。また、一方でその子どもたちの数は減少の一途をたどるばかりです。男女の平均成婚年齢は上昇、成婚率も減少し、さらには離婚件数が増加するなど、子どもたちが増加していくような傾向ではありません。現在出生率は減少し、我が国は他の先進国（主要国）に先駆けて少子高齢化社会へ突き進んでおり、少子化対策は国をあげての緊急の課題となっています。私たちの身近にもこういった問題や悩みを抱えている方の現実は後を断ちません。そして、いつ、このような問題が自分達の身に及ぶともかぎりません、誰もが適切な対応を行うことは困難です。このような家庭での育児方法、いじめや引きこもりなどの子育て、介護や相続など、さまざまな身近な問題や悩み、不安を抱える人々に対して、われわれはあらゆる体験を通じ、学識経験者など一体となって スペシャリスト人材を養成し、明るい未来に向かって「みんなで手をつなごう運動」を展開して参ります。一方雇用不安 離婚 家族崩壊など、さらに、高齢化の問題では最近老々介護に疲れ、心を病み、うつ病、自殺者急増など、介護をめぐる問題も顕在化してきています。

カウンセリング、セミナーなどを通じてアドバイスや情報提供活動を実施し、一緒に考え、励ますことで一人でも多くの方々の悩みや不安を癒し、改善していくことに力を注ぎます。

この様々な問題や社会の閉塞感を打開していくことは容易ではありません。しかし、日本人は古来より人と人のふれあい、信頼感、思いやりを大切にし、仲間同士助け合うという美しく誇らしい道徳観を持ってきました。私たちのこのささやかな活動が、ともしびとなり、日本人が本来もっている価値観を呼び覚まし、こころ豊かな人間社会を復活させ、平和で人間性豊かな社会作りに必ず貢献すると考えています。そして、この活動に携わった一人ひとりに自信と安心、希望を抱く事に通じるなら、その幸せの輪はやがて大きく、広く伝わり実りの循環が生まれていくと信じています。

また、少子化問題を解消していくにあたり、男女の成婚率の低下の問題を解決していかなければなりません。「婚活」という言葉が生まれたように、一昔前にくらべ簡単に結婚相手をみつけ、成婚できる時代ではなくなってきました。成婚率の低下には様々な要因が指摘されていますが、少なくとも結婚を希望する男女にはその出会いの機会を提供し、サポートをしていくことが必要です。その役割を担う一つが経済産業省奨励の結婚相手紹介サービス業です。現在事業者が乱立し、結婚活動を行おうとする男女が、信頼できる事業者を選択できることは非常に困難となっております。私どもは誰もが安心して結婚活動を行える様、公正かつ適正な判断を行える審査委員を選定し、信頼に値する事業者の審査認証を行う機関とし

て国が定めたガイドラインを遵守し、更にプラス顧客満足度 成婚を原則とした優良システムサービスを付加した事業者「マル優マーク」の審査認証を行います。また結婚活動を行う男女に適切な支援、アドバイスを行える心理カウンセラーの育成事業を行います。

このような事業を行うにあたり、広く一般社会の信頼性が付与されている特定非営利活動法人の設立が望ましいと考えています。

顧客優先のシステムサービスとメンタルサポートによる、円満な成婚を第一に、時流に左右されない確かな成婚に向かって、成婚体験をベースとした専門カリキュラムで育成するに値する、志を有する事業者を選別し、教育養成、カウンセラー認定 交付の上、実務を行います。

2 申請に至るまでの経過

結婚専科®株式会社ソシオ創業30年の足跡は企業としての大目標である成婚者を多数連続で送り出して参りました。出産、子育て、夫婦、家族愛に支えられ 離婚のない事でも広く知られています。

行政機関である経済産業省でも、その本流システム、実績を高く評価し、そのご期待に沿って、時流に流されることなく 結婚専科の正統派を貫いて参りました。

偉大なる学識経験者をはじめ、日本を代表する一流企業、官僚、医師、弁護士、研究職、教育機関などで活躍中の方々、ご成婚後のOB家族との口こみによるネットワーク、人脈は他で類を見ない幅広い優秀な方々に恵まれ、そのために他とは格差システムサービスの実践、結果はあるべき方向、あるべき目的に着地し、関係各位のご信頼とご支援のお蔭で現在に至りました。そのプロセスは苦難の連続の中で極めた反省と改善による成功パターンでした。現状 成婚に至らない多くの事業所の苦境を結婚産業の未来のために 結婚専科、成功の秘訣は理念とシステムサービスにあり、志ある同志に分け与え 引き継ぐ事も社会貢献の一助と心得、感謝のお返しと願っておりました。人に奉仕し、そのよろこびを共有できる有志に、惜しみなき人材育成をもって、活性化、生産性向上に寄与する事を願うものです。少子 高齢化 社会貢献を願う以上の主旨を、大多数のOBとその父兄の方々に深い賛同とご支援を得るに至りました。

6月創業の月にスタートすることに意義があり、「しあわせの輪 手をつなごう運動」の理念を広く一般にもその輪を広げて参りたいと思います。以上 趣旨と経過についてのご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

平成 21 年 6 月 28日 京都市下京区高辻通り新町西入ル 堀之内町272-7
京都3号館ビルに於いて発起人 (社員) 11名と設立総会を開催いたしました。

平成 21 年 6 月 28日

特定非営利活動法人 ワークライフバランス推進協力機構
設立代表者 京都市下京区高辻通新町西入ル 堀之内町272-7
京都3号館ビル

鈴木 雅夫 ⑧